

神津島の火山活動解説資料（令和元年7月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
30日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図2）

前浜南東監視カメラ（天上山の南西約3km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・ 地震や微動の発生状況（図3-①②、図4）

神津島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図1、図3-③~⑥、図5）

GNSS連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

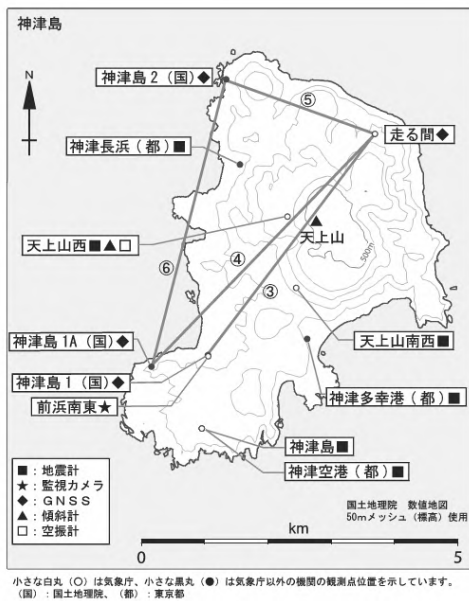


図1 神津島 観測点配置図

GNSS基線③~⑥は図3の③~⑥に対応しています。
神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設。



図2 神津島 天上山山頂部の状況
（7月17日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和元年8月分）は令和元年9月9日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

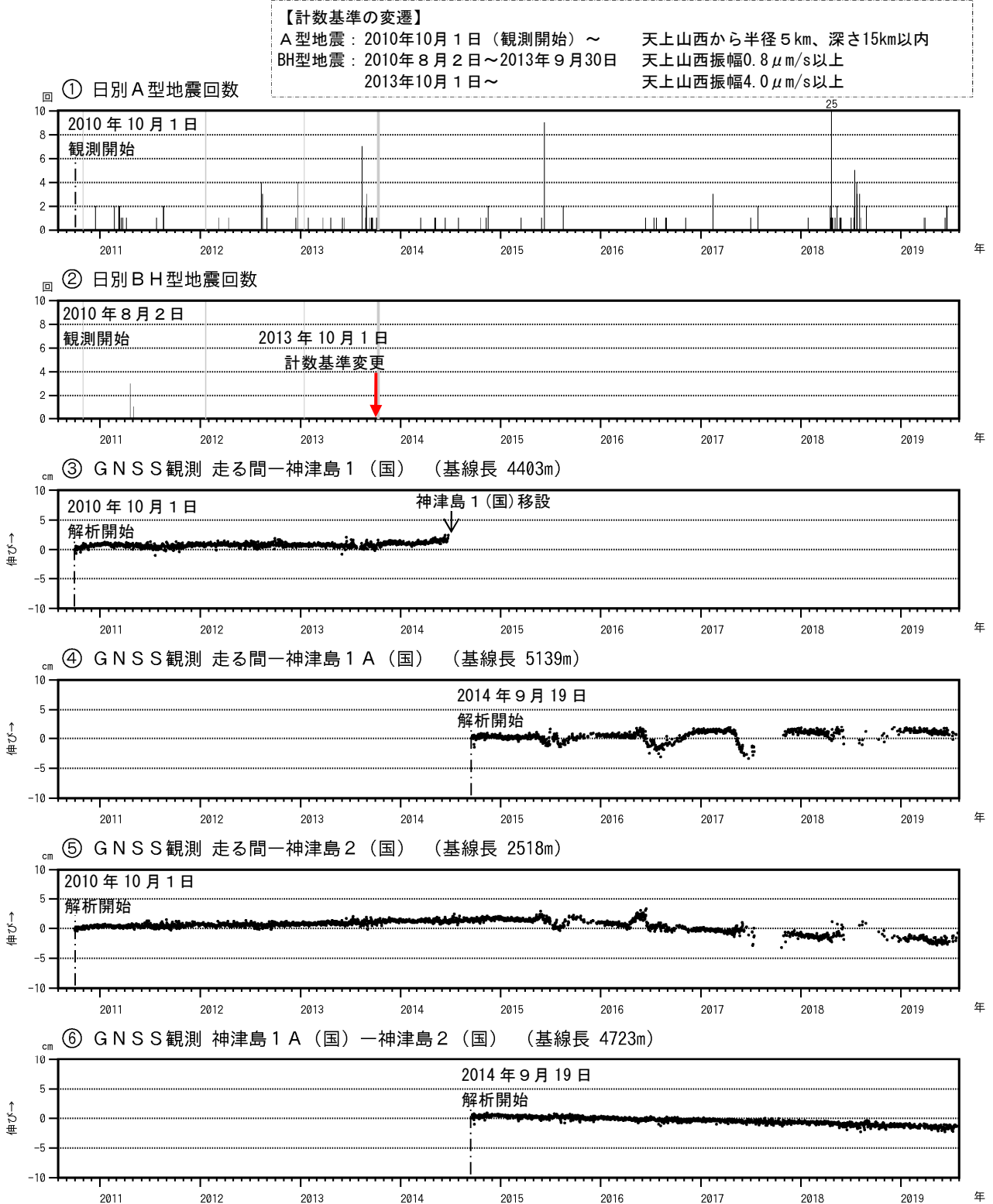


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2019年7月31日)

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

③～⑥：図1のGNSS基線③～⑥に対応しています。空白部分は欠測を示します。

2014年9月19日に、神津島1を神津島1Aに移設しました。

(国)：国土地理院

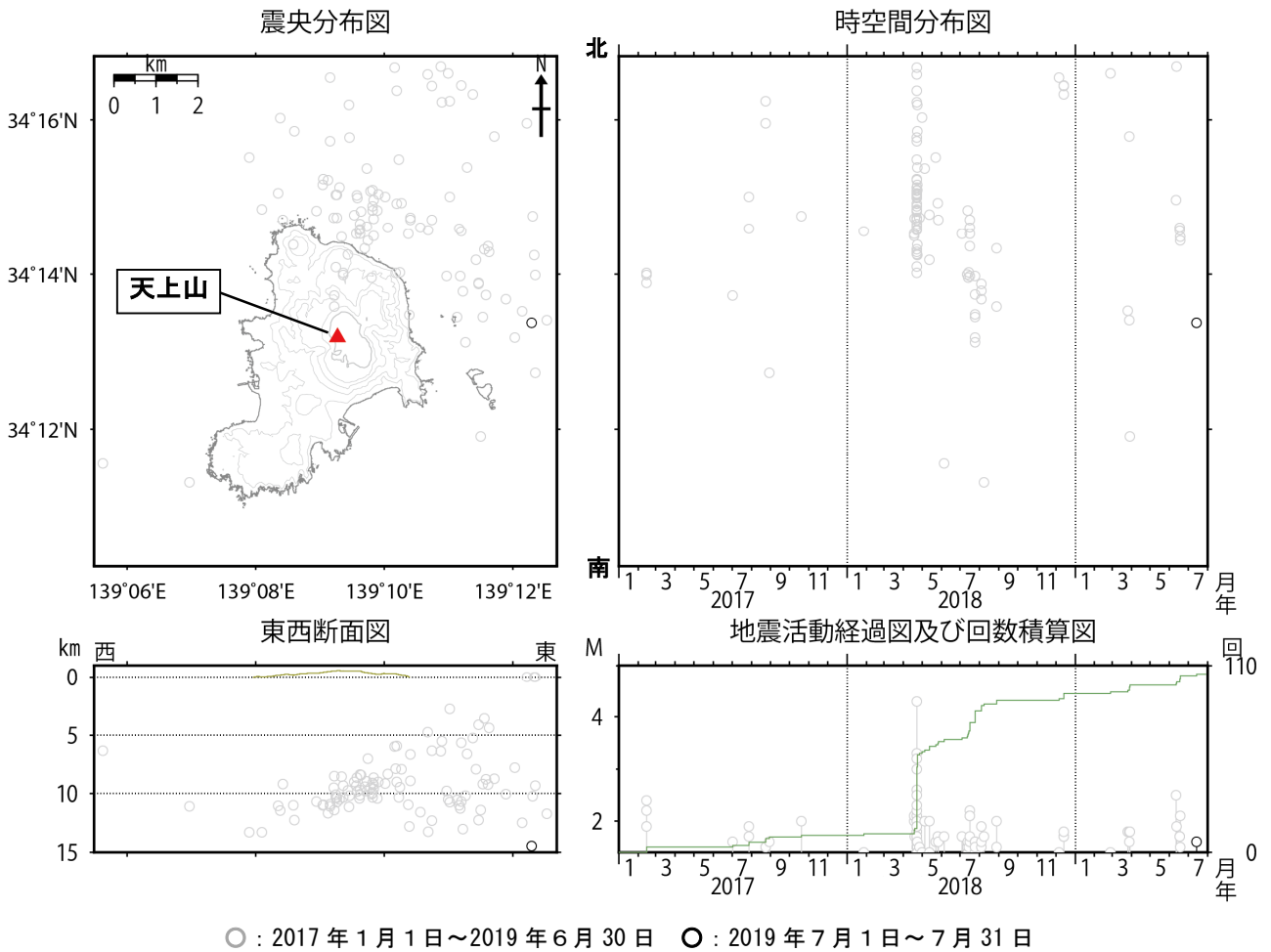


図4 神津島 広域地震観測網による神津島及びその周辺の地震活動
(2017年1月1日～2019年7月31日)

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。
図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

- ・今期間、神津島及びその周辺に震源が求まる地震は少なく、地震活動は低調に経過しています。
- ・震源は、神津島の東側海域の深さ15km付近でした。

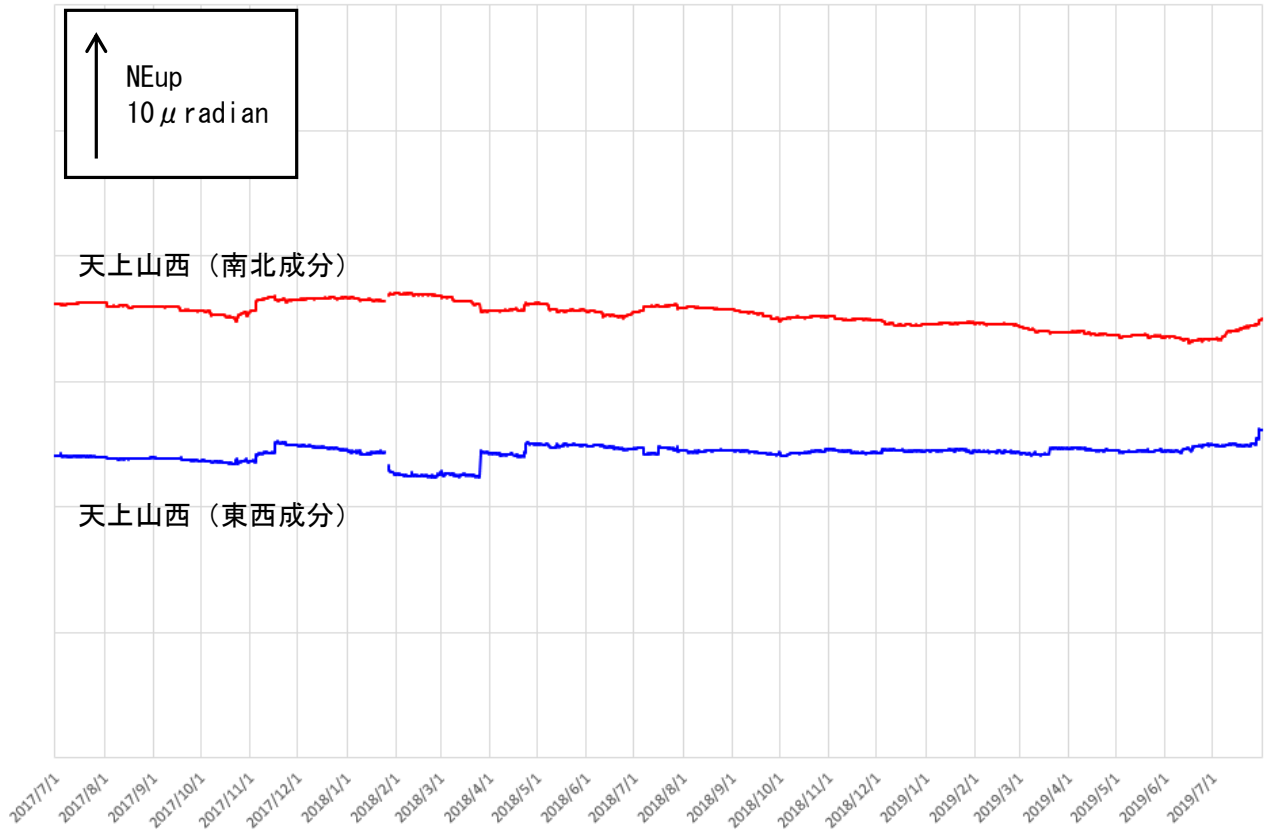


図5 神津島 天上山西観測点の傾斜変動（2017年7月1日～2019年7月31日）
 ・火山活動によるとみられる変動は認められません。